

共生

～やまぐち自然派宣言～



- ❖ 寄稿「カタクリ保全活動と地域での活動」
山口県自然観察指導員協議会 大田 和彦
- ❖ 令和4年度やまぐち子ども樹木博士
山口県樹木医会 中村 義博
- ❖ やまぐち自然共生ネットワーク会長表彰 記念植樹
(令和2年度受賞) 植田 高弘 櫛崎 アツ子
(令和3年度受賞) 福田 清治 松田 茂
- ❖ 令和5年度通常総会
- ❖ みんなの思い出写真館
- ❖ お知らせ

山口県自然観察指導員協議会

大田 和彦

私の所属する団体は、本年度、創立三十八年を迎える。創立当時から寂地山のカタクリ保全活動と八代のナベヅルのねぐら整備を行ってきた。カタクリについては、毎年四月二十九日にカタクリ観察会を行っていたが、十数年前から四月中旬と十月下旬に寂地山頂上付近の登山道整備も行っている。そのためか、カタクリの群落も広がり、満開の春の妖精が以前よりも多く見られるようになり、登山客も満足しているようである。登山客は、西は九州から、東は近畿地方から貸し切りバスで来る人もある。

保全活動は、登山道の周辺の笹刈りをしたり、枯れ木を並べカタクリの生育場所に人が入らないようにしている。以前、生育場所にシートを敷いてそこで弁当を食べるといった団体があったり、登山道脇



に咲いていた白いカタクリの花を摘んでいくという不届きな人もあったが、今はそのようなことはなくなった。

これからも保全活動が続けていき、頂上付近だけでなく、縦走路や頂上から下の地域もカタクリで一杯にしたい。体力の続く限り保全活動が続けるつもりである。活動の参加者は大体決まっていて、数名から最大十名である。関心のある人、特に地元の人達に参加してほしいと思っている。

次に、下松市の切戸川で水生生物の観察会を十九年前から行っている。参加者は小学生が主体で、親子での参加となっている。案内は、下松市内の全小学生に学校を通じてしている。時期は、毎年七月の最後の日曜日に行っている。この観察会は下松市では非常に人気のある行事で、申込当日に二十分〜三十分で定員一杯となる。募集定員を決めていないと百、二百を超えてしまう程である。子供たちは、魚や水生昆虫を見つけるのに夢中で、半身びしょ濡れになったり、泥で服が汚れても気にしない。人気のもう一つの理由は、コロナ禍以前は会の終了後カレーを食べて帰ることができて、親子共に夏の半日充実した行事となっていた。

指標生物となる水生生物による調査では、大体

「の「きれいな水」となっている。しかし、最近、川の「少しきいたない水」の指標生物が見られるようになってきているので少し気になるところである。これからもこの観察会を継続し、きれいな川を維持していけるよう子供たちの意識を変えていきたいものである。



次に、環境省と日本自然保護協会主催でモニタリングサイト一〇〇〇里地調査を行っている。これは、里地里山の自然環境の変化を見つめ守り引き継いでいくために、今後、百年にわたって市民の手で調査をし、保全の手立てにすることを目指している。調査内容九の内、植物相とアカガエルの卵塊数について、周南市中須北地区で九年前から行っている。今年度は、十年目となる区切りの年である。

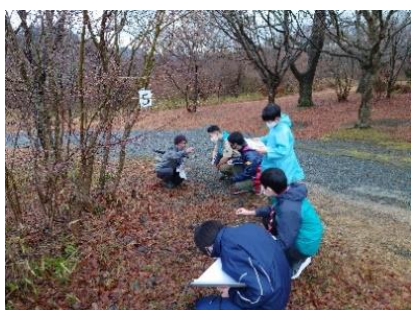
◆令和四年度やまぐち子ども樹木博士

やまぐち自然共生ネットワーク理事

中村 義博（山口県樹木医会）

令和五年二月十九日（日）、国立山口徳地青少年自然の家にて、日本ボーイスカウト山口県連盟中部地区B P祭が行われました。そのプログラムの一コマで、ボーイ・ベンチャー隊（小学五年〜高校三年）の十四名に対して、子ども樹木博士を実施したので、報告します。

時間は、十時三十分〜十二時三十分の二時間で実施しました。まず、ボーイスカウトの指導者のもと、十四名を三班にわけました。一班四名を私、二班五名を伊藤幸治樹木医、三班五名を早川善章樹木医がそれぞれ受け持ち、自然の家のつどいの広場周りの樹木を観察して回りました。



今回は、冬の樹木ということで、落葉樹の冬芽、樹皮、枝ぶりなどの特徴を中心に十種類の樹木を観察しました。観察したのは、ソメイヨシノ、カクギノキ、クヌギ、ケヤキ、イロハモミジ、クロモジ、ナツツバキ、ガマズミ、コブシ、ハゼノキです。図鑑を手に、実際の樹木を出来るだけわかりやすく解説して回りました。（たとえば、ソメイヨシノは、冬芽は水滴の形をしていて、軟らかい毛がある。樹皮の色は、いわゆるサクラ肌で、横長の模様がある。葉っぱになる芽は細いが、花になる芽は太く卵型である。）一か所五〜六分での観察でしたが、冬芽の形、枝や樹皮の模様や手触り、枝の伸び方や匂い等五感を使って覚えられるように工夫しました。



さて、観察を終えて、部屋に戻ってからは、認定試験です。机の上に並べてある十種類の樹木の枝を見て、解答用紙に樹木の名前を記入していきます。みんな、真剣な表情で枝を見ながら、解答していきます。解答用紙を提出したら、採点をして、受講認定証を上原正義やまぐち自然共生ネットワーク広報担当に作成してもらいました。

私が各自に認定証の授与を行い、まとめとして、子どもたち一人ひとりから、今日の感想を発表してもらいました。「樹木のことがわかってよかった」「木に興味をもてるようになった」「認定試験は難しかった」、「機会があれば、ぜひ、また、参加したい」など、それぞれの思いを聞きました。そして、今日の三人の講師（中村、伊藤、早川）から、子どもたちへのメッセージとして、「樹木を理解することによって、自然を大切にすることを培ってほしい」旨のことなどを伝えて、プログラムを閉じました。

❖やまぐち自然共生ネットワーク会長表彰 記念植樹

令和四年五月に、令和二年度及び令和三年度に会長表彰を受賞された四名の皆様とともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により遅れていた、会長表彰副賞の記念樹の植樹を行いました。

その後、それぞれから近況をご報告頂きましたので、植樹の様子とともにご紹介します。

〈植田 高弘様（令和二年度受賞）〉

初夏に植えたシャリンバイ（車輪梅）樹木医の早川氏が植樹し、プレートを取り付けました。久保田会長とプレートを持つ筆者です。

白い花が薫風に揺れて、とても、さわやかな気持ちになりました。今年も白い花を咲かせてくれることをとても楽しみにしています。



〈櫛崎 アツ子様（令和二年度受賞）〉

記念植樹して頂き一年経とうとしています。その節は遠いながら、久保田会長さんはじめ事務局の皆様足を運んで頂き、ありがとうございました。

コロナ禍がようやく収まりつつ、マスクもまだ外すことに違和感があります。障害者のボランティア活動もコロナ禍で三年休みました。今年四月より再開しますが、今までのように行くか不安ですが、私の気持ちは開村先生の言われた言葉を信じて前向きに進んで行きたいと思っています。

周南市老連会長さんも今年度から変わり、私も年を重ね、体がどのように動くかと心配しつつ、千両のように根を張り、すくすくと健康である限りボランティア活動に力を注ぎたいと思います。今後共よろしく願います。今回は本当にありがとうございました。



〈松田 茂様（令和三年度受賞）〉

昨年は記念樹を頂き有難うございました。

私は「さつき」を頂きましたので、まだ咲いていません。狭い庭に植えていますすが元気に育っています。



〈福田 清治様（令和三年度受賞）〉

その後も、私達は「三五〇種の山野草の花が咲く生きた図鑑の森」を目指し、毎月二回の定例の活動を通じて頑張っています、興味に有る方は一緒に活動しましょう。

【連絡先】「山野草のエキ」保存会

〒745-0301 周南市大字大潮659-1

代表 福田 清治



令和五年度通常総会

令和五年七月に、令和五年度通常総会を開催しました。令和二年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、書面開催としましたが、三年ぶりに参集形式で開催することができました。また、通常総会の開催に併せて、三名の方に活動発表をしていただきました。

令和五年度通常総会の開催結果について、次のとおりご報告します。

《概要》

○日時 令和五年七月二十三日(日)

十三時三十分～十五時〇〇分

○場所 山口県教育会館 五階 第二研修室

○出席者 役員及び会員(十二名)

○次第 開会

議長選出

議事

①第一号議案 令和四年度事業報告

②第二号議案 令和四年度収支決算

③第三号議案 令和五年度事業計画案

④第四号議案 令和五年度収支予算案

お知らせ
閉会

《第一号議案 令和四年度事業報告》

次の内容を報告し、承認を得ました。

①事業実績

時期	内容	備考
5/18(水) 5/24(火)	令和2・3年度会長表彰受賞者への副賞(記念樹)贈呈	各受賞者自宅にて植樹
6/3(金)	令和4年度通常総会	書面開催※
7/25(月)	第25回理事会	書面開催※
8/7(日)	やまぐち子ども樹木博士	2月へ延期※
秋頃	第18回リレーミーティング	中止※
2/19(日)	やまぐち子ども樹木博士	

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による。

②会員数の状況(令和五年七月一日時点)

団体…三十七団体(二団体増※)
個人…九十九名(三名増※)
※昨年同時期と比較した結果

《第二号議案 令和四年度収支決算》

次の内容を報告し、承認を得ました。

なお、令和五年六月二十日に、黒田義則監事に、やまぐち自然共生ネットワーク規約第十七条の規定に基づき、令和四年度事業報告、収支決算書及び関係書類により、予め監査をしていただき、適正に処理されていることをご報告いただきました。

1 収入の部				(単位:円)
費目	予算額	決算額	比較増減	内訳
前年度繰越金	200,334	200,334	0	
会費	169,000	100,000	▲69,000	うち過年度22千円、次年度以降9千円
助成金	0	0	0	
事業費収入	280,000	0	▲280,000	
総会・理事会	0	0	0	書面開催
リレーミーティング	280,000	0	0	開催中止
子ども樹木博士	0	0	0	
サクラ部会	0	0	0	
雑収入	666	0	▲666	
その他	0	5,140	5,140	理事会書面開催に伴い会場使用料の返金等
合計	650,000	305,474	▲344,526	

2 支出の部				(単位:円)
費目	予算額	決算額	比較増減	内訳
事業費	595,000	161,856	▲433,144	
(1) 総会・理事会	40,000	6,702	▲33,298	書面開催に係る郵送料等
(1) リレーミーティング・会長表彰	320,000	50,544	▲269,456	表彰経費(リレーミーティングは中止)
(2) 子ども樹木博士	40,000	0	▲40,000	ボーイスカウトイベントと共催
(2) サクラ部会	25,000	0	▲25,000	活動なし
(3) 会報	150,000	86,882	▲63,118	印刷料、郵送料
(3) ホームページ維持料	20,000	17,728	▲2,272	委託料、サーバー利用料等
雑費	15,000	0	▲15,000	
予備費	40,000	0	▲40,000	
合計	650,000	161,856	▲488,144	

※翌年度繰越額 (収入額) 305,474円 (支出額) 161,856円 = 143,618円

【監査報告】
規約第17条の規定に基づき、令和四年度事業報告、収支決算書及び関係書類により監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。

令和5年6月20日

やまぐち自然共生ネットワーク 監事

黒田義則

〈第三号議案 令和五年度事業計画案〉

次の内容を説明し、承認を得ました。

時期	事業名	場所	方法	概要
6/20(火)	第26回理事会	セミナーパーク	参集	前年度事業報告、当年度事業計画に関する協議など
7/23(日)	令和5年度通常総会	県教育会館	参集	前年度事業報告、当年度事業計画に関する協議など
8/4(金)	やまぐち子ども樹木博士	国立山口徳地青少年自然の家	共催	子ども対象の森林観察など
10/21(土)～22(日)	第18回リレーミーティング	周南市鹿野地域	1泊2日	会員同士の交流、散策など
10/21(土)	令和5年度会長表彰	周南市鹿野地域	参集	リレーミーティング内で会長表彰の授賞式を開催
2～3月頃	第27回理事会	山口市内	参集	当年度事業報告、次年度事業計画案に関する協議など

〈第四号議案 令和五年度収支予算案〉

次の内容を説明し、承認を得ました。

1 収入の部 (単位：円)				
費目	予算額	前年度予算額	比較増減	内訳
前年度繰越金	143,618	200,334	▲56,716	
会費	173,000	169,000	4,000	団体：37団体×2,000円 個人：99人×1,000円
助成金	0	0	0	
事業費収入	280,000	280,000	0	
総会・理事会	0	0	0	
リレーミーティング	280,000	280,000	0	(飯) 7,000円×40人
子ども樹木博士	0	0	0	
サクラ部会	0	0	0	
雑収入	382	666	▲284	預金利息等
合 計	597,000	650,000	▲53,000	

2 支出の部 (単位：円)				
費目	予算額	前年度予算額	比較増減	内訳
事業費	545,000	595,000	▲50,000	
(1) 総会・理事会	40,000	40,000	0	案内郵送料、会場使用料等
(1) リレーミーティング・会長表彰	320,000	320,000	0	案内郵送料、保険料、表彰経費等
(2) 子ども樹木博士	40,000	40,000	0	消耗品費等
(2) サクラ部会	25,000	25,000	0	消耗品費等
(3) 会報	100,000	150,000	▲50,000	印刷料、郵送料
(3) ホームページ維持料	20,000	20,000	0	委託料、サーバー利用料等
雑費	15,000	15,000	0	消耗品費等
予備費	37,000	40,000	▲3,000	
合 計	597,000	650,000	▲53,000	



ご承認いただいた内容で、今年度も活動を進めてまいります。

今年は三年ぶりに、一泊二日でリレーミーティングを開催する予定です。詳しい内容は、後日改めてご案内する予定です。ですので、お楽しみに！

久しぶりに、顔を合わせて会員同士のネットワークをさらに深め、情報交換等を行う機会にしたいと思っていますので、奮ってご参加ください。

❖ みんなの思い出出写真

「自然」に関する写真を大募集中！

皆様が撮影された思い出の一枚を会報誌に掲載してみませんか？撮影時期は問いません。美しい風景等とっておきの一枚をお送りください。詳しくは、最終頁「お知らせ」をご覧ください。

【西日本第2の高峰】



〔撮影時期〕 令和2年10月
〔撮影場所〕 愛媛県（剣山）
〔撮影者〕 S.N 様

【きらら浜のヨシ焼き】



〔撮影時期〕 令和5年3月
〔撮影場所〕 山口市（きらら浜）
〔撮影者〕 藪 博昭 様

【コスモス畑】



〔撮影時期〕 令和4年7月
〔撮影場所〕 山口市
（道の駅きららあじす）
〔撮影者〕 ナカムラ様

【冬の高千穂峡】



〔撮影時期〕 令和元年12月
〔撮影場所〕 宮崎県（高千穂峡）
〔撮影者〕 Y.M 様

【大物見つけた！】



〔撮影時期〕 令和4年8月
〔撮影場所〕 山口市（山口湾）
〔撮影者〕 広報担当

【ふれあい平潟】



〔撮影時期〕 令和4年8月
〔撮影場所〕 山口市（きらら浜）
〔撮影者〕 広報担当

【黄金色の景色】



〔撮影時期〕 令和4年9月
〔撮影場所〕 防府市（佐波川）
〔撮影者〕 広報担当

【夏のは（まり）】



〔撮影時期〕 令和5年7月
〔撮影場所〕 下関市（土井が浜）
〔撮影者〕 まっつん様

【初日の出】



〔撮影時期〕 令和5年1月
〔撮影場所〕 宇部市（白土海岸）
〔撮影者〕 S.N 様

【秋の秋吉台】



〔撮影時期〕 令和2年9月
〔撮影場所〕 美祢市（秋吉台）
〔撮影者〕 まっつん様

【TAKE OFF !】



〔撮影時期〕 令和2年6月
〔撮影場所〕 周防大島町（嵩山）
〔撮影者〕 バレーマン様

【夏の美濃が浜】



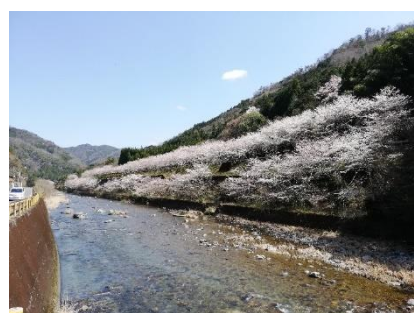
〔撮影時期〕 令和5年7月
〔撮影場所〕 山口市（美濃が浜）
〔撮影者〕 カッキー様

【藤の花と滝】



〔撮影時期〕 令和4年5月
〔撮影場所〕 山口市（一貫野の藤）
〔撮影者〕 S.N 様

【桜】



〔撮影時期〕 令和3年3月
〔撮影場所〕 岩国市（宇佐川）
〔撮影者〕 バレーマン様

【夕暮れ時の錦帯橋と桜】



〔撮影時期〕 令和2年4月
〔撮影場所〕 岩国市（錦帯橋）
〔撮影者〕 Y.M 様

【石垣島のマングローブ】



〔撮影時期〕 令和5年1月
〔撮影場所〕 沖縄県（石垣島）
〔撮影者〕 広報担当

【五竜の滝】



〔撮影時期〕 令和2年9月
〔撮影場所〕 岩国市（寂地峡）
〔撮影者〕 Y.M 様

◆やまぐち自然共生ネットワークからのお知らせ

◆ホームページについて

やまぐち自然共生ネットワークのホームページでは、本ネットワークの情報のほか、会員の皆様が個人又は団体で主催するイベント情報等を発信しています。ぜひご覧ください。

各種情報をホームページへ掲載希望の方は、広報担当（裏面の連絡先）までお知らせください。

◆会報誌について

会員の皆様から、次の2点を随時募集します！

- ・自然に関する記事（寄稿文）※
- ・自然に関する写真※

「自然」をテーマに、皆様の活動紹介や、日常で発見したささやかな出来事など、何でも構いません。ご協力いただける方は、広報担当（裏面の連絡先）宛て、お気軽にお送りください。

◆新規会員募集について

令和五年八月一日現在の会員は、

＊団体会員 三十七団体

＊個人会員 九十九名

自然にご興味がある方など、どなたでも大歓迎です。一緒にネットワークの輪を拡大しましょう。



※自然に関する記事（寄稿文）については、「タイトル」「執筆者氏名」をご記入ください。

・参考文献等ある場合は、著者名等をご記入ください。

・原稿に写真を添える場合は、写真データも併せてお送りください。

※自然に関する写真については、「タイトル」「撮影時期」「撮影場所」「撮影者氏名（ニックネーム可）」をご記入ください。

・ご自身が撮影されたものに限りです。

・誌面の都合上、横向き撮影されたものをお送りください。

・被写体に人物が含まれる場合は、肖像権の侵害等が生じないように応募者本人の責任においてご確認ください。

◆編集後記

自然再生協議会全国会議において行われたアンケートでは、コロナ禍により、自然再生活動が停滞したり、その間の環境変化が大きかったり、活動に再び協力してもらえないか不安だ、といった意見が挙げられていました。

コロナ禍は、皆様の活動においても、大きな影響を与えたものと存じますが、ついに、令和5年5月から、新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、徐々に人が集まって活動しやすい世の中になりつつあります。

私にも6歳と3歳の娘がおり、活動が制限されていたコロナ禍で大半を過ごしています。もともと多くの自然に関わる活動に参加させたいと思っており、このような家族も多いと思います。

活動を再開するにあたり、不安なこともあると存じますが、待ちわびている参加者も必ずいますので、ぜひ、再び進めていただければと存じます。



このたび執筆いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。ご意見等お待ちしております。

広報担当

〈 表紙写真 〉

山口市「多様な生き物を育む山口湾の干潟」

(令和4年8月 広報担当撮影)

やまぐち自然共生ネットワーク

～次世代につなごう美しいやまぐちの自然～

〔総務・企画担当〕 岡村 安彦（事務局長）

〔広報・会計担当〕 上原 正義、中村 佐和子

広報関係 お問い合わせ先

〒753-8501

山口市滝町1番1号 山口県環境生活部自然保護課内
やまぐち自然共生ネットワーク広報担当

(TEL) 083-933-3060 (FAX) 083-933-3069

(E-mail) a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

ホームページ <http://www.yama-kyou.net/>

E-mailアドレス info@yama-kyou.net